

型番：IREM-GA  
以降ゲートウェイと表記します。

型番：IREM-BA  
以降ロガーと表記します。

使い方ガイドや  
製品情報はこちら



このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書は大切に保管してください。

**設置手順書**

取扱説明書 保管用

日本国内専用

**電気工事必要**  
本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

**保証とアフターサービス** 必ずお読みください

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より4年間です。  
※使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくはサポートコールにお問い合わせください。  
保証期間内に故障した場合は、サポートコールへ問合せいただくようお願いいたします。お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

担当営業へ問合せいただくようお願いいたします。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、4年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はサポートコールにお問い合わせください。

**保証規定**

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ②お引き渡し後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電池の使用などによる故障および損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国外での使用による故障および損傷

■製品の設置・施工・アフターサービスについてのお問い合わせ

アイリスコール **0800-111-5300** (通話料無料)

〈受付時間〉平日9:00～18:00、土・日・祝日9:00～12:00/13:00～17:00  
(年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

ENEverse ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/b2b/energy-saving/>

302604  
070125-AKU-YSU-01

■使用時について

- 逆流する電力(マイナス電力)は測定できません。
- 溶接機など断続的にしか電流が流れない負荷は、正確に計測できないことがあります。
- 次の箇所を計測する場合には、計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。
  - ・電流値が極端に小さい箇所
  - ・電流が歪んでいる箇所
  - ・力率が低い箇所
  - ・強磁界がある箇所

■輸送について

- 本製品は精密機器のため、運搬時には衝撃を与えたり、落下しないようご注意ください。

**施工記録表**

- 施工時に必ず記入し、お客様にお渡しください。

施工者	ロガー R 001-P01730	ゲートウェイ R 003-190198 T D190160003
施工年月日		

**安全上の注意**

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

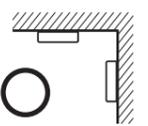
図記号の意味	 注意を促す記号	 してはいけない [禁止] 内容	 しなければならない [指示] 内容
--------	---	---	---

■施工担当者へ ●工事が終わりましたら、この設置手順書を必ずお客様にお渡しください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

ロガー・ゲートウェイ共通	ロガー
<p> <b>必ず実施</b></p> <p>●<b>施工は設置手順書に従い確実にを行う</b> 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令にしたがい作業してください。施工が正しくない、落下・感電・火災の原因になります。</p> <p>●<b>取り付けおよび保守・点検作業の際は必ず電源を切る</b> 通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電・破損の原因になります。</p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>分解や改造はしない</b> 本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。</p> <p>●<b>雨水のかかる場所、湿気が多い場所には取り付けない</b> 水漬や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。</p>	<p> <b>必ず実施</b></p> <p>●<b>別売の簡易ブレーカを設置する</b> 守らないと、感電の原因になります。</p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>1次電流通電中は、CTケーブル2次側を開放しない</b> 感電やCTケーブル故障の原因になります。</p> <p>●<b>分電盤に設置し配線後、電源コネクタを接続する</b></p>

**注意** 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

ロガー・ゲートウェイ共通	ロガー
<p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>以下の場所に取り付けけない</b> 火災・感電・落下による破損やけがが発生のおそれがあります。</p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>傾斜のある場所</b></p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>取り付け面に大きな凹凸があり均等に接しない場所</b></p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>補強のない薄い取り付け場所</b></p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>不安定な場所</b></p> <p>↓</p> <p>●<b>必ず本製品の重さに耐えられる強度がある、平らな天井面、棚板下部、壁に取り付けてください。</b> ・本製品の性能と寿命を確保するため、設置場所は十分検討のうえ決定してください。</p> <p></p>	<p> <b>必ず実施</b></p> <p>●<b>盤組込時などにライン～大地間の絶縁抵抗測定を行う時には、本機に接続している線を外す</b> 守らないと故障の原因になります。</p> <p>●<b>計測電源端子への配線には、ブレーカなどの配線保護機器を設置する</b> 守らないと電気事故の原因になります。</p> <p> <b>禁止</b></p> <p>●<b>240Vを超える電圧回路の計測はしない</b> 発熱・発火の原因になります。</p> <p>●<b>インバーターの2次側回路では使用しない</b> 発熱・故障の原因になります。</p> <p>●<b>充電部間は、絶縁抵抗試験をしない</b> 故障の原因になります。</p> <p>●<b>ロガー側面の給電端子にはIRIS製電力モニタ用ゲートウェイ (IREM-GA) 以外は接続しない</b> 機器故障の原因となります。</p> <p><b>ゲートウェイ</b></p> <p> <b>必ず実施</b></p> <p>●<b>電源は定格電圧・定格周波数で使用する</b> 本製品は日本国内のAC100V(電圧変動±6%以内)、周波数50 / 60Hz専用です。</p>

**電波に関する注意**

本体に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本体の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

●本体の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本体の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。

●本体は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本体の使用による免責事項について

本体を用いて2.4GHz帯の無線データ通信を行う場合、下記の用途には使用できません。また当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- 医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- 故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本体の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客側側の瑕疵(かし)による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。

ロガー R 001-P01730	ゲートウェイ R 003-190198 T D190160003
---------------------	--

■無線に関する免責事項について

- 無線周波数の使用について:本製品は920MHzおよびLTE周波数帯を使用しています。無線通信の特性上、周囲の環境や障害物の影響を受けることがあります。通信の安定性や速度が保証されない場合がありますので、予めご了承ください。
- 電波法に基づく使用制限:本製品は日本国内限定です。本製品は電波法に基づき、特定の条件下での使用が制限される場合があります。使用前に必ず確認し、適切にご使用ください。
- 他の無線機器との干渉:本製品は他の無線機器と干渉する可能性があります。特に、同じ周波数帯を使用する機器が近くにある場合、通信品質が低下することがあります。干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、他の無線機器との距離を確保してください。
- 免責事項:本製品の使用により発生しうける損害についても、当社は一切の責任を負いません。無線通信の特性や環境要因により、通信が途絶えたり、データが損失する可能性があります。重要な通信には他の手段を併用することをお勧めします。

■電波妨害について

下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

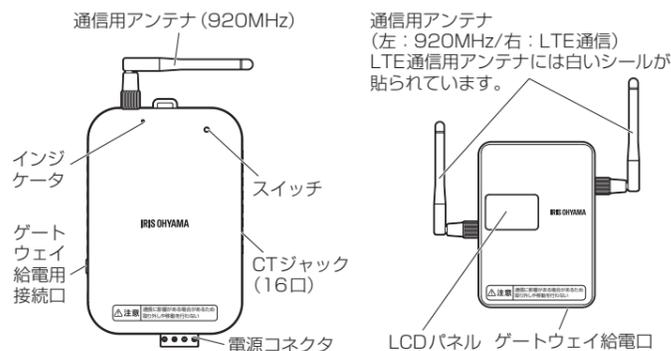
- ロガーとゲートウェイ間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁が複数ある。
- ロガーとゲートウェイ間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ロガーまたはゲートウェイの近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ロガーまたはゲートウェイの近くで、マイクロ波治療器を使用している。
- テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。  
【ゲートウェイのみ】
- ゲートウェイを盤内に設置した場合、電波の接続強度が弱くなる場合があります。

送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、本機は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。電波ノイズを受けると機器が誤作動したり、動作しない原因になります。内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい動作ができない場合がありますのでご注意ください。

**商標**

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。アイリスオーヤマ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## 各部の名称



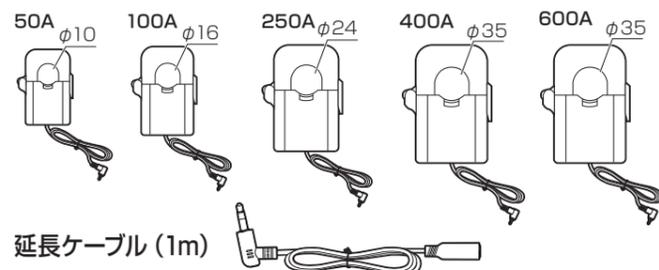
### 梱包品

- ロガー本体
- アンテナ(1本)
- 電源コネクタ
- DINレール取付治具
- DINレール取付用ねじ(4本)

- ゲートウェイ本体、通信用アンテナ(2本)
- 給電用Type-Cケーブル
- 給電用ACアダプタ
- ゲートウェイ取付板、取付板
- ゲートウェイ取付用ねじ(2本)

### CTケーブル(5タイプ:50A/100A/250A/400A/600A)

※サービス契約内容により同梱されるCTケーブルや機器の台数が異なります。施工時に使用しなかったCTケーブルは大切に保管してください。全てのタイプのCTケーブルが同梱されていない場合があります。



## 仕様

### ロガー

対応配線方式	単相2線、単相3線、三相3線、三相4線
測定項目・測定値	電圧実効値、電流実効値、有効電力
定格入力電圧	AC100~220V(50/60Hz)
測定電流(CT)	50A、100A、250A、400A、600A
精度	±2%(試験測定値)
測定回路数	最大8回路(単相2線の場合は最大16回路)
寸法	W118×D40×H173(mm)
設置方法	DINレール/マグネット

### ゲートウェイ

通信	920MHz/LTE
給電	USB Type-C/ACアダプタ
消費電力	0.4W
ロガー接続台数	最大4台
寸法	W83×D21×H118(mm)

## 使用条件

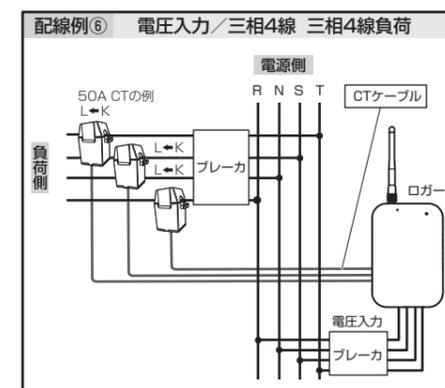
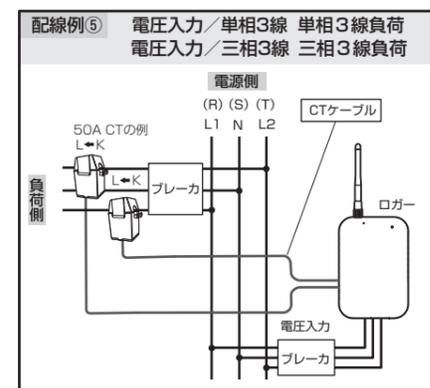
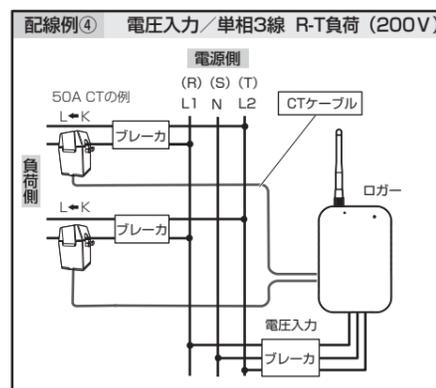
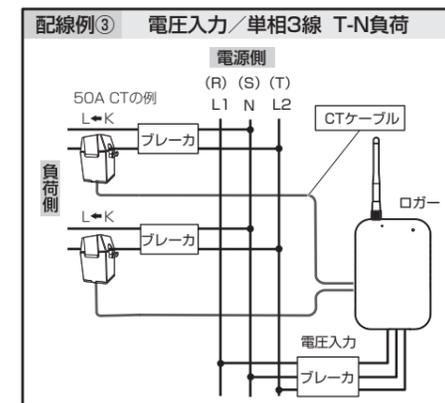
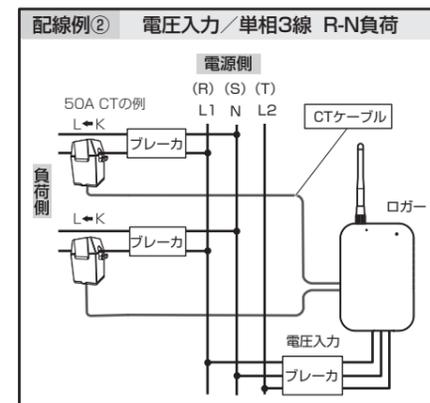
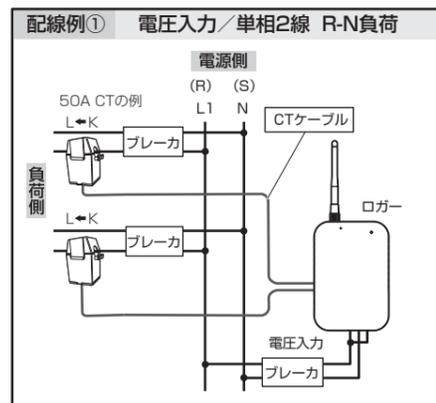
本製品は以下の環境で使用してください。

- 10℃~+50℃の環境
- 定格周波数 50/60Hzの環境
- 湿度80%以下で結露がない環境
- 直射日光の当たらない屋内
- 雨水のかからない環境
- 酸や塩素などの腐食性ガスの発生しない環境
- 振動・衝撃のない環境
- 電波干渉を受けない環境【ゲートウェイのみ】
- AC100Vでの環境(専用ACアダプター使用時)

**注意** ゲートウェイ給電用接続口にはIRISゲートウェイ以外接続しない。

## 電圧入力とCTの接続方法

※本器の保護やメンテナンス性確保のためブレーカ(3~15A)などを設置してください。



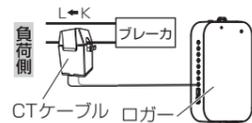
## 取り付けかた

### 1.安全確保のため、電源を遮断し、手袋を着用する

- 警告**
- 電源を遮断しないで作業した場合、感電・短絡事故の原因になります。
  - 作業の際は、必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。

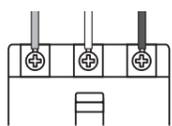
### 2.CTケーブルをブレーカとロガーに接続する

- ①設置ツールの内容に従って、測定したいブレーカにCTケーブルをクランプする。
- ②ロガー側面のジャックに差し込む。  
※CTケーブルをクランプするときは該当するブレーカの電源を遮断して作業してください。  
※CTケーブルをクランプするときはカチッと音が鳴るまで確実に挟み込んでください。  
※CTケーブルに記載の「+」が負荷側に向くようにクランプしてください。  
※ケーブルの配線が盤内でブレーカや金属部分に接触しないように束ねたり括りつけたりして固定してください。  
※R相とT相のCTケーブル定格は、同じものを使用してください。  
※単相2線式200Vの場合は、CTケーブルは必ずL1(R)側にクランプしてください。



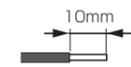
### 3.電源線をブレーカに接続する

- 盤の空きブレーカもしくは電力を測定したいブレーカに電源線を接続する。  
※空きブレーカが無い場合は簡易ブレーカを設置してください。  
※活線挿抜はしないでください。

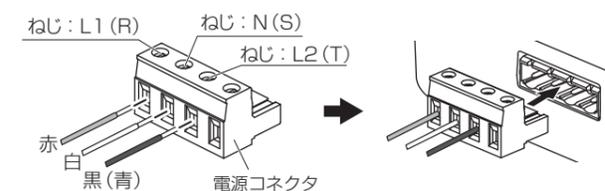


### 4.電源線をロガーに接続する

- ①被ぶくを10mm剥く。(線種φ1.6mm単芯線)



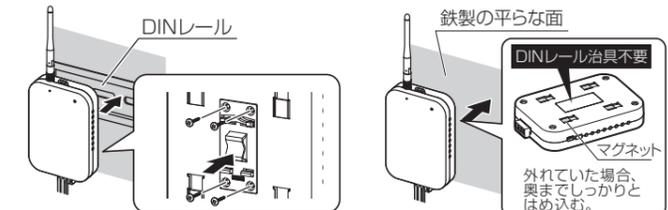
- ②電源コネクタのねじをマイナスドライバーの先などで緩める。
- ③電源線をL1(R)→N(S)→L2(T)の順に奥まで確実に差し込み、再度ねじを締める。
- ④電源コネクタをロガーに接続する。



### 5.ロガーを取り付ける

- ※落下の危険があるため、盤の扉には設置しないでください。
- 推奨 **A** DINレール治具で取り付ける (DINレールへの取り付け) **B** マグネットで取り付ける (鉄製の平らな面への取り付け)

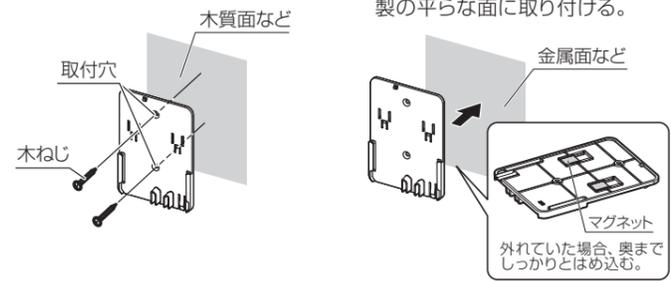
- ①DINレール治具をロガーに取付用ねじで固定する。
- ②DINレール治具をDINレールにはめ込む。
- ③アンテナを地面と垂直な方向に立たせる。



ゲートウェイと同一盤内で取り付ける場合、アンテナは外してください。通信強度は専用ツールを使って確認してください。

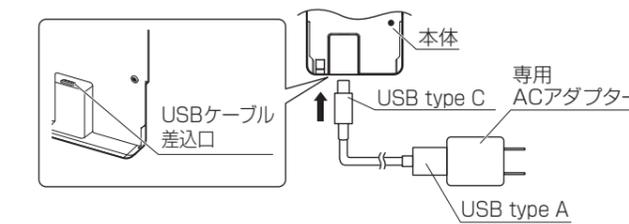
### 6.ゲートウェイの取付板を壁に取り付ける

- A** 木ねじで取り付ける (木質面などへの取り付け)  
取付板の取付穴に付属の木ねじを使用して取り付け。
- B** マグネットで取り付ける (鉄製の平らな面への取り付け)  
取付板背面のマグネットが正しく装着されていることを確認し、鉄製の平らな面に取り付ける。



### 7.USBケーブルを接続する

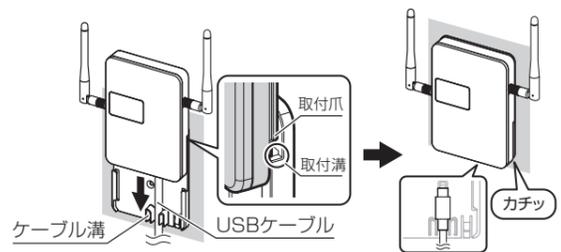
USBケーブルのtypeA側プラグを専用ACアダプターの差込口に、typeC側プラグをゲートウェイの差込口にそれぞれ差し込む。



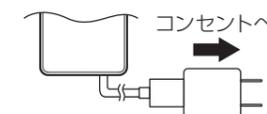
ロガーと同一盤内で取り付ける場合、USBケーブル(Type-C-Type-C)を使用してください。

### 8.ゲートウェイを取付板に取り付ける

- ①取付板のケーブル溝にUSBケーブルを通す。
- ②本体の取付爪と取付板の脇にある取付溝の位置を合わせ、カチッと音が鳴るまで本体を下にスライドする。
- ③アンテナを立たせる。



### 9.専用ACアダプターを通电させる



ロガーと同一盤内で取り付ける場合、ロガーの側面のコネクタに繋げてください。

